

平成 26 年 8 月 16 日 00183 号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【武道館情報】武道祭演武団体紹介⑥

北見市武道振興協議会創立 20 周年記念事業の第19回北見市総合武道祭演武団体紹介の第 6 弾は、北見空手協会の草薙満四段・大矢ひとみ初段・横溝清一六段による演武と初心者向け体験講習会が行われました。演武では、形など日々の鍛錬の成果を発揮して、実にキレのある動作を見せて頂きました。次回は、北見居合道連盟の演武をお伝えします。



## 友好都市サハリン州ポロナイスク市訪問団が施設見学

先週土曜日の 8 月 9 日午後 1 時ごろ、北見市と姉妹友好都市であるロシアサハリン州ポロナイスク市訪問団が北見市武道館の施設見学に訪れました。副市長をはじめ関係者含め約 20 名が佐藤壽春施設長から館内の説明を通訳を介し聞き入り、「すばらしい施設」との言葉をいただきました。



## 武道の広場弓道場側芝生発育状況

現在武道館内の芝生は、深刻な水不足の中、右写真のように青々とした芝面に戻りつつあります。雪解け当初は、「日光焼け」が発生して褐色部分が点々としていましたが、武道館スタッフによる砂入れや雑草抜き、サッチ(枯草等)を取り除くサッチング作業、早朝の 4 時半ほどから開始するスプリンクラーや手作業での毎日の水撒き作業のおかげで芝が徐々に回復してきています。また、あづち側縁が完全に枯れてしまっていた部分に撒芝を行い、右下写真の様に芽が順調に育ってきています。芝が十分に根付くまで手入れや水撒き作業に入らせて頂きますので、ご協力お願い致します。



## 連載 中国「老子」の思想 六十七章 「われに三宝あり」

「大きいことは大きい、どことなくぬけてきているようだ」。わたしの説く「道」を、世間はこのような批判している。

「道」はたしかに大きい。大きいからこそまがぬけて見える。まがぬけて見えないぐらいなら、大きいなどといえはしない。

この「道」から、三つの宝が引き出せる。第一は、「人をいつくしむ」心である。第二は、「物事を控え目にする」態度である。第三は、行動において「人の先に立たない」ことである。

人をいつくしむからこそ、勇気が生まれる。控え目だからこそ、窮まることがない。人の先に立たぬからこそ、人を指導することができる。

もし、いつくしみの心を持たずに、ただ勇のみをこころざし、控えめな態度も知らずに、ただ無窮のみを願い、退くことも忘れて、ただ人に先立つことのみを考えるなら、結果は破滅あるのみだ。

いつくしむ心をもつ者は、戦えばかならず勝ち、守れば難攻不落である。いつくしみの心、それはまさしく、天が万物を保護する心なのだ。

原文:天下皆謂我道大似不肖。夫唯大、故似不肖。若肖、久矣、其細也夫。我有三寶、持而保之。一曰慈、二曰儉、三曰不敢爲天下先。慈、故能勇。儉、故能廣。不敢爲天下先、故能成器長。今舍慈且勇、舍儉且廣、舍後且先、死矣。夫慈以戰則勝、以守則固。天將救之、以慈衛之。

六十八章に続く